

大東文化大学

研究倫理審査に関する申請の手引き

2025年 6月 1日

人文社会科学系研究に関する倫理審査委員会

全体に関わる共通事項

1 はじめに

研究者が研究活動を実施するにあたっては、調査対象者や実験対象者（以下「研究対象者」という）の人権に配慮した研究計画を立案・しなければなりません。このことは、生命科学・医学系研究においてはもちろんのこと、人文社会科学系研究においても同様となっています。仮に人権配慮が十分に行われていない研究活動が行われた（あるいはなんらかの形で関与してしまった）場合には、研究者としての信用を損なうなどの社会的制裁を受けるとともに、調査の結果によっては研究活動における不正行為が認定され、学内的な処分の対象となる場合があります。大東文化大学（以下「本学」という）に所属されている研究者のみならず方には、以上の点に十分ご留意いただき、公正な研究活動の実施に努めていただきますようお願いいたします。

本学では、研究者が行う個々の研究課題が、関係諸官庁が定める指針やいわゆる研究倫理の面から見て、これが適正に行われる計画であるかどうかを審査することを目的として、以下の通り委員会を設置しています。

- ・生命科学・医学系研究： 大東文化大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会
- ・人文社会科学系研究： 大東文化大学人文社会科学系研究に関する倫理審査委員会

倫理審査を受審することは、昨今においては、単なる研究活動における手続きのひとつではなく、当該研究が社会的に公正かつ適正なものであることを証明するための重要なプロセスですので、委員会における研究倫理審査には真摯に向き合ってくださいようお願いいたします。

2 基本ルール

本学に所属する大学院生（修士課程）以上の研究者が、研究対象者の協力を得て生命科学・医学系研究を実施する場合は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（以下「生命・医学系指針」という）に基づいて、倫理審査（本学であるか否かは問わない）を必ず受審しなければなりません。

研究対象者の協力を得て人文社会科学系研究を実施する場合には、倫理審査を受けることは必須とはなっていません（本学に所属する大学院生（修士課程）以上の研究者が必要に応じて受審することができます）。しかし、上記に記載した通り、研究対象者の人権には十分配慮していただくようお願いいたします（倫理審査を受審しない＝研究対象者の人権に対する配慮は不要とはなりません）。また、倫理審査の要否については、研究者自身の責任で判断していただくこととなりますが、学会発表・論文の投稿などにおいて審査結果の開示を求められる場合もありますので、自身の研究内容及び研究成果の公表を見据えた判断が必要です。

なお、学部生のゼミ活動については、教育の一環であることから、倫理審査の受審は必要ないものとしますが、指導教員の先生方には、研究対象者の人権に配慮したご指導をお願いいたします（ただし、担当教員の研究内容の範疇において実施する場合（例えば、担当教員がゼミ生と合同で自身の研究成果として学会発表・論文の投稿などを行う）は、必要に応じて研究倫理審査を受審してください）。

3 審査対象とする研究課題

それぞれの委員会で取り扱う案件について、以下にお示しします。

当該案件の申請については、以下を参考にいただきながら、**研究責任者の判断**によって行っていただきます（研究活動の内容を最も理解しているのは申請者たる研究責任者であり、研究実施に関わる最終的な責任を負うため）。

ただし、交付を受けている研究費や研究実施の背景によっては以下の区分が適用できない場合もありますので、ご不明な点がございましたら研究推進室までお尋ねください。

<生命科学・医学系研究>

- 研究対象者から得られたゲノム・遺伝子を用いた研究

* 人類遺伝学等の自然人類学、人文学分野においても該当する場合がありますのでご注意ください。

- 研究対象者から得られた健康に関する情報（運動によって得られた情報を含む）を用いて行う研究活動
(例) 運動負荷をかける実験を伴う研究、生体試料を採取することを伴う研究、研究対象者の疾病に関する情報を分析する研究

* アンケート調査（インターネット調査を含む）・インタビュー調査）であっても、疾病や健康に関するセンシティブな情報（生活習慣は行動習慣に起因する情報であるため、健康に関する情報に該当しない）を取得する場合は、これに該当します。

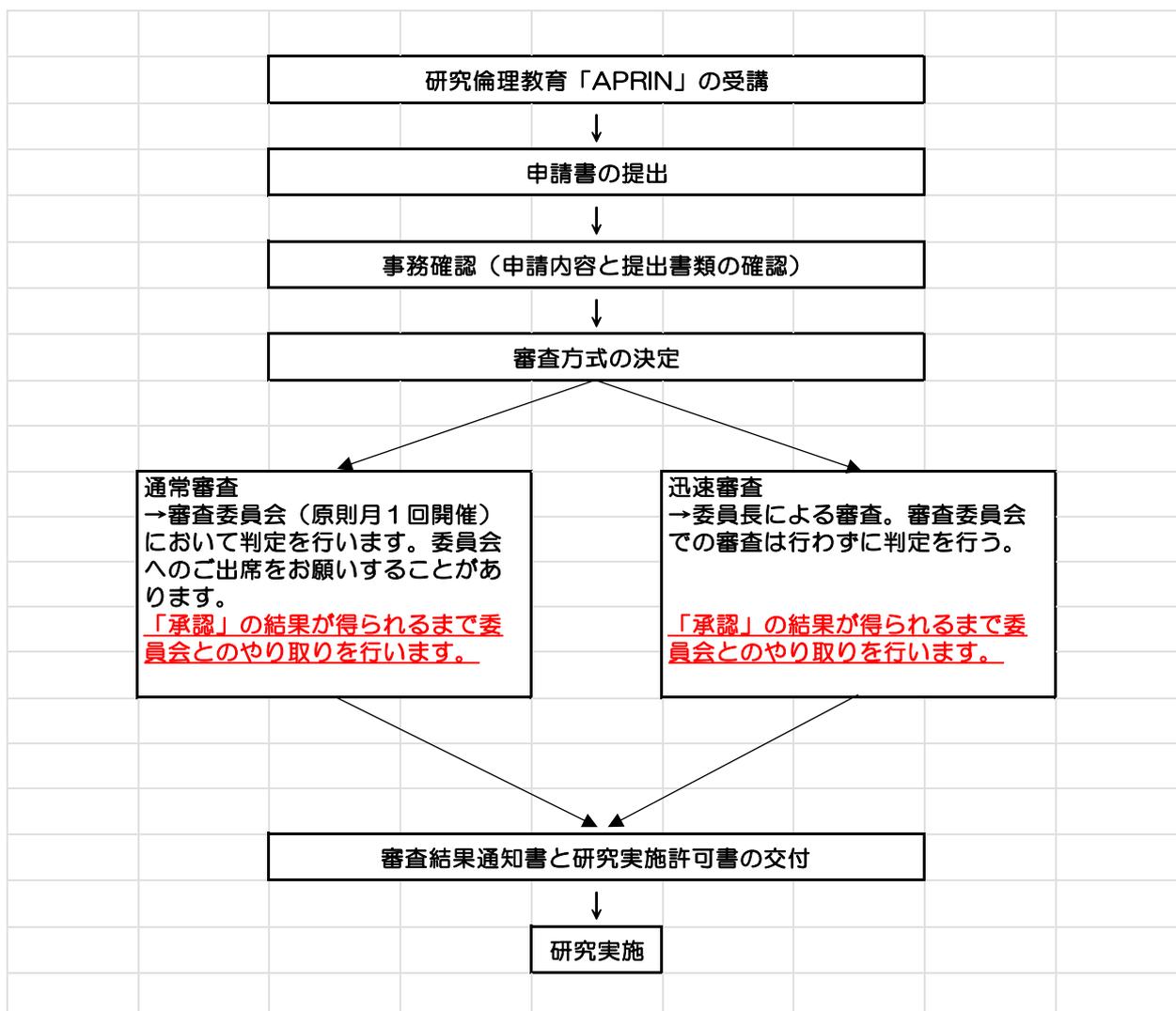
<人文社会科学系研究>

- 行動習慣、思想や信条、人材養成や教育成果など、研究対象者から得られた内面を含む個人情報に関わる内容などを用いて行う研究活動

(例) 行動実験（テストなどを含む）を伴う研究、アンケート調査（インターネット調査を含む）を伴う研究、インタビュー調査を伴う研究、観察を伴う研究

4 事務手続き・審査の流れ

以下の手順により事務手続きを行います。



<ご留意いただきたい事項>

- 承認まで時間を要することがありますので、申請は計画的に行っていただくようお願いします。
- 事務確認においては、基本的に申請内容と提出書類の確認を行います。必要に応じて内容に関する照会や修正をお願いする場合があります（審査をよりスムーズに行うことが目的）。
- 審査方式には、通常審査と迅速審査の2種類があります。どちらの方式により審査を行うかについては、委員会が決定します（提出された研究課題の内容を踏まえて、これまでの委員会における審査実績などから決定されます）。
- 通常審査の場合、申請内容の確認のため、必要に応じて申請者の出席を求める場合があります。
- 委員会では審査方式によらず以下のとおり判定を行います。
 - ・承認：研究を実施して差し支えないと判断される。
 - ・条件付き承認：付された条件を満たすことにより、研究を実施して差し支えないと判断される。
 - ・変更の勧告：申請された内容について、研究倫理の面から是正を要すると思われるため、委員会の意見を踏まえて、変更の上で改めて申請し直すことを勧告する。
 - ・不承認：申請された内容が、法令違反もしくは研究対象者への人権保護に著しく問題があると

判断されるため、研究を実施することが不相当であると判断される。

- ・非該当 : 審査委員会で審査する内容ではないと判断される。
- * 「条件付き承認」の場合は、委員会の意見を踏まえ、申請書等に修正（修正箇所は赤字）を施し、提出してください。
- * 「変更の勧告」の場合は、上記のプロセスのうち、「申請書の提出」から改めて手続きを行うことで、再度判定を受けることができます。
- 緊急で実施する必要がある研究課題については研究推進室までご相談ください。
 - * 緊急で実施する必要がある研究課題：研究者個人の事情（学会などとの関係）によるものではなく、研究対象者の生命・健康に関わる特段の事情があり緊急的に追加実験等を行う必要が生じた、研究費を交付している官公庁や研究対象者の事情により早急な対応が迫られている研究課題を指します。
- 申請書の提出は、**審査を希望する月の5日まで**とします。
 - * 提出方法：メールによる電子媒体提出（提出書類のうち、倫理審査申請書・説明文書・同意書・同意撤回書はワードファイルにてご提出ください）
 - * 提出先 : 大東文化大学研究推進室 倫理審査専用メールアドレス
kenkyu-rinri@jm.daito.ac.jp

5 他機関での倫理審査について

倫理審査は、必ずしも本学で受審しなければならないものではありません。

共同研究などにおいて他大学による受審が必要な場合や、学会などの学術団体に設置されている倫理審査委員会を利用した方がより専門的な視座から意見を受けることが可能であるなどの場合には、他機関で受審されることをおすすめします。

倫理審査申請書 (記載上の注意事項)

年 月 日 提出

大東文化大学学長 殿

研究責任者の氏名等

所属：

職位等：

氏名：

連絡先（携帯電話）：

メールアドレス：

**大学院生の研究活動による申請の場合は、
指導教員の名義にて申請する。**

大東文化大学人文社会科学系研究に関する倫理規程第8条に基づき、
以下の内容について倫理審査を申請します。

1. 研究課題名	研究内容や研究を通じて明らかにしたいことと課題名に齟齬がないように注意する
2. 研究期間	委員会承認日 ～ 年 月 日 原則として3か年以内で、研究成果の最終的な公表日まで。
3. 他機関での審査	<input type="checkbox"/> あり（結果通知書を添付する） <input type="checkbox"/> なし
4. 指導する大学院生 <small>（研究指導の場合に記載）</small>	所属： 職位： 氏名： 連絡先（携帯電話）： メールアドレス： 大学院生が申請する場合のみ記載（院生以外は記入しない）
5. 共同研究の有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし （ありの場合）共同研究者の所属・職位・氏名および研究上の役割について記載してください ① ② ③ 共同研究者の書きぶりは次の通り。 （例）①大東太郎（大東文化大学〇〇学部教授）／データ解析指導／AP00140000
6. 研究費	<input type="checkbox"/> 一般研究費 <input type="checkbox"/> 特別研究費 <input type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 学科予算等 <input type="checkbox"/> 受託研究・共同研究・指定寄附研究（研究費受給元： ） <input type="checkbox"/> その他（資金名： ） 大学院生の研究では「研究科予算等」を選択する。 利益相反関係が生じている研究課題は、利益相反委員会に申告する（くわしくは研究推進室まで）。

(5) 本研究を実施する場所：
当該研究が明らかに実施可能な場所を記載する

(6) 研究成果の公表方法
 ①発表する団体および公表の方法：**学会名／公表方法（ポスター発表、論文投稿、研究発表など）**
 ②研究成果の公開にあたって共同研究者間の合意の有無 あり なし 必要なし

9. 研究対象者への倫理的配慮

(1) 研究対象者に対する説明と同意（説明文書・同意書・同意撤回書を添付すること）
 ①研究対象者（あるいは代諾者）への説明方法
文書による説明 口頭・掲示物等による説明 電磁的方法による説明
説明の必要なし（理由： _____）
 ②研究対象者（あるいは代諾者）からの同意取得方法
書面による同意取得 口頭による同意取得 電磁的方法による同意取得
本研究に関する説明を周知し不同意の場合に研究対象者から申し出を受ける
説明文書・同意書・同意撤回書を資料として添付すること（大学が指定する様式を使用することを推奨する）。
【代諾者へのインフォームド・コンセント】
判断能力の有無にかかわらず、研究対象者が18歳未満の場合には、保護者等代諾者に対して研究内容について説明し、同意を得なければならない。
 ③研究対象者への説明および同意取得において配慮しなければならない事項
ハンディキャップを有するなどの理由により、説明や同意取得により配慮を要する場合に記載する。
目の不自由な人を研究対象者とする場合には、説明文書を点字化・音声化するなどの配慮。同意書への記載は代筆者によって行う配慮が必要となるなど。

(2) 研究対象者に対して与える苦痛とそれに対する対応
 ①本研究への参加が研究対象者に対して苦痛を与えることの有無（可能性を含む） あり なし
 ②（①「あり」の場合）研究対象者に与える苦痛の具体的内容：
研究参加による負担並びに予測される研究対象者の苦痛を記載する。
 ③（①「あり」の場合）苦痛の軽減を図ることを目的として研究対象者に対して講じる配慮事項：
上記②に記載された研究対象者への苦痛を最小化するための具体策を記載する。

(3) 研究対象者に対する謝礼の有無
あり なし
 * 支払形式：現金 商品券 現物支給（商品名： _____）
 *（上記において現金・商品券を選択した場合）金額： _____ 円

10. 研究対象者（およびそれに関わる関係者も含む）の個人情報および研究データの取扱い

(1) 個人情報等の取扱い
 ①本研究における研究対象者の個人情報の取扱い あり なし（8（3）と突合せさせる
研究責任者が実験に立ち会う場合は、その場で見聞きするすべてが個人情報となるので、「あり」を選択する。
 ②（①において「あり」を選択した場合）個人情報に匿名加工・非識別加工する手順を具体的に記載する。
 ・匿名加工・非識別加工の具体的な手順：
本研究課題に関わらない第三者が匿名加工・非識別加工を行うことを明記し、以下の文例を参考にしながら記載する。

例) 個人を識別する氏名等の情報、学籍番号などの個人識別符号、個人情報と他の情報を結びつける符号・記号、個人を特定できる可能性のあるコメント等を削除する。なお、本研究課題の実施によって得られた個人情報に関わる匿名加工・非識別加工は、本研究に関わらない第三者がこれを行うこととする。

③本研究における個人の思想信条、収入、病歴（診察歴）などセンシティブ情報の取扱い あり なし

(2) 研究データの取得方法について

個人情報を含む研究データを取得し、匿名加工・非識別加工を施してデータ化する

個人情報を含まない研究データを収集する（紙媒体・電子媒体（google formを含む）を問わない）。

個人情報を含まない研究データの収集を企業等に行わせる（業務計画書・機密保持契約書を添付）

個人情報を含まない研究データの提供を他機関等から受ける

この研究以外の目的等で取得された個人情報を含まない研究データを使用する

その他（具体的な内容： _____）

(3) 個人情報および研究データの管理について

①管理責任者：**研究責任者（個人情報に匿名加工・非識別加工を行った段階で第三者によって抹消させること）。**

②保管期間：10年（研究データ） 5年（実験試料その他現物） それ以外（ _____ 年）

③保管方法：**紛失や漏えい等のリスクへの対応を十分に踏まえて、以下の点に留意する。**

- ・紙媒体の場合：**研究室にある鍵のかかったロッカーに保管すること**
- ・データの場合：**PCにパスワード付きで保管されていること（データを使用する際はインターネットに接続しない）／パスワード付きの堅牢なクラウドに保存されていること**

④処分方法：**紛失や漏えい等のリスクへの対応を十分に踏まえて、以下の点に留意する。**

- ・紙媒体の場合：**シュレッダーによる破砕処分など再生（復旧）不可能な手段による**
- ・データの場合：**データ消去ソフトを使用するなどして端末をフォーマットして完全消去させる／クラウドのバックアップ全体を削除する等**

11. これまで実施してきた同様の研究課題

あり なし

（ありの場合のみ）

承認機関 大東文化大学 他機関（承認機関名： _____）

承認番号（ただし本学で受審した課題のみ）： _____

研究課題名： _____

12. 本申請書を記載するうえで使用した参考文献等（文献名・著者・ページを明記）

《提出書類》

倫理審査申請書（様式第1号）

研究計画の説明に必要な書類（以下に添付した書類を記載する）

様式第1号

- ・ 説明文書
- ・ 同意書および同意撤回書
- ・ (アンケート調査を行う場合) 質問事項・回答事項の分かる書類
- ・ 研究データの取得に関して必要な書類 (業務計画・機密保持契約書/データ使用許可書など)
- ・ その他研究の内容を理解するうえで必要な書類

《記載上の注意事項》

チェック項目は黒塗り (■) とすること。

研究対象者のみなさまへ

研究へのご協力をお願い（記載上の留意事項）

この研究活動を行うにあたって、研究対象者のみなさまにご協力をいただきたいと思います。ついては、以下にしたがって説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

なお、この研究活動は、令和〇〇年〇〇月〇〇日開催の大東文化大学人文社会科学系研究に関する倫理審査委員会における審査にて承認の判定を受け、大東文化大学学長の承認（令和〇〇年〇〇月〇〇日付通知文書）を得て行われるものです。

<全体に関わる留意事項>

- ①あなた（未成年者の場合は代理人。以下同じ。）は、この研究に参加するかどうかをご自身の意思で決めることができます。参加しない場合であっても、不利益を被ることはありません。また、研究参加に同意をした後であっても、随時これを撤回することができます、不利益を被ることはありません。
- ②あなたが、この研究によって得られたデータを使用して欲しくない場合にはデータの使用を中止しますので、研究責任者に申し出てください。なお、個人情報収集しない調査の場合（あるいは集計作業終了後においては）、あなたの回答内容を研究データから抜き出すことが困難な場合がありますので、あらかじめ承知しておいてください。
- ③あなたは、他の参加者の個人情報を保護することや、この研究の独創性を確保することに支障がない範囲で、研究計画書やその他の資料を閲覧することができます。希望する場合は、研究責任者に申し出てください。
- ④この研究によって得られたデータを将来の研究に使用する可能性があります。また、他の研究機関にデータを提供する可能性があります。この実験に参加することを承諾しても、将来の研究に使用することや他の研究機関にデータを提供することを承諾しない場合は、研究責任者に申し出てください。
- ⑤インターネット調査を行う場合には、ホームページ等に掲載されている説明事項を熟読いただき、内容に同意（画面上で同意を求める場合があります）をいただいたのちに、調査にご協力ください。
- ⑥あなたの秘密が保全されることを前提として、モニタリング・監査を目的として、大東文化大学人文社会科学系研究に関する倫理審査委員会および幹事（研究推進室担当者）が、必要な範囲内においてあなたに関する試料や情報を閲覧することがあります。
- ⑦この研究において疑問や質問がある場合は、遠慮なく研究責任者に申し出てください。また、研究責任者に相談できない事項がある場合には、大東文化大学研究推進室にご相談ください。

<あなたから得た個人情報および研究データの取扱いについて> **申請書10**

1) 本研究を通じて、あなたから個人情報を得ることが、 あります ありません

2) あなたの個人情報は、匿名加工・非識別加工（誰のものか分からなくする加工）によって、研究データに加工されます。

3) あなたから得たデータ（個人情報および個人情報に由来する研究資料など）は、以下の通り管理されます。

①管理責任者：

②保管期間： 10年 5年 その他（ 年）

③保管方法：

④保管期間が満了しデータを処分する方法：

<この研究に関する連絡先>

研究責任者：〇〇〇〇（大東文化大学〇〇学部〇〇学科教授）

電話：090-0000-0000 / E-mail：〇〇〇〇〇〇〇〇

相談窓口：大東文化大学研究推進室：

電話番号：0493-31-1520 / E-mail：kenkyu-rinri@jm.daito.ac.jp

<本日の説明者> **大学院生が説明する場合は大学院生の氏名等を記載する。**

〇〇〇〇（大東文化大学〇〇学部〇〇学科教授）

年 月 日

大東文化大学 学長 殿

同意書

私は、別に定める説明文書等に基づき、説明者の_____さん（*研究対象者の自筆により記入）より以下の通り説明を受け、十分理解いたしました。つきましては、この研究に参加することについて同意いたします。

1 研究課題名：

2 研究責任者（所属・氏名）：

3 説明のあった事項（*チェックボックスにチェックマークを記入する）

全体に関わる留意事項

本研究の概要について

あなたにご参加いただく内容等について

本研究に参加することに伴う苦痛とそれに対する対応について

あなたから得た個人情報および研究データの取扱いについて

4 研究対象者の氏名等（自署によること）

氏名・所属：_____

住所：_____

代諾者の氏名（研究対象者との続柄）：_____（_____）

年 月 日

大東文化大学 学長 殿

同意撤回書

私は、別に定める説明文書等に基づき説明を受け、今回の研究に参加する旨の同意をしましたが、この同意を撤回します。

1 研究課題名

2 研究対象者の氏名等（自署によること）

研究対象者の氏名： _____

代諾者の氏名（研究対象者との続柄）： _____（ ）

（代諾者がいる場合のみ）